

自由律俳句

おおくさ編集室選

コロナ騒動一日も早く平和な日待つ 神戸上 柴田 篤子
 下をちよつと見つめ自分の幸せは私できめる 茶屋 岸本 治枝
 会えなくも心の密を静かな正月とする 生山 渡辺 圭子
 黒豆剥き出す指先が今日の日和に弾む 茶屋 木山 操子
 事多かつた一年の想い柚子湯に浸かる 茶屋 小林 道子
 初春心の中温めてくれた一杯のコーヒー 茶屋 木山 輝子
 土鈴が揃う十二年越しの除夜の鐘を撞く 茶屋 藤原 寿郎
 来年は良い年にと願って正月を飾る 茶屋 長谷川由美子

俳句

駄句駄句会編集室

雑煮作りて故郷の母想いだす 萩原 岡本 健三
 ハンザケや石の隙間で春を待つ 萩原 金谷 松代
 雪見たしと南國の孫羨みし 宮内 田辺登志美
 初雪やうつすら見する鬼林山 神戸上 笹間 玲子
 雪見コーヒー五臓六腑のこちよさ 宮内 木村萬佐子
 遅起の身嗜ととのえ初鏡 宮内 船越 裕子
 コロナ年雑煮もミカンも郵送に 下石見 矢田貝 元
 「恙なく」言葉の重み年の暮 矢戸 和田 淑子

短歌

神の山抜き出た杉の秀穂が 阿毘縁 木村 民子
 令和の空に栄え続かん
 コロナ禍に明けて暮れたる日々なれど 湯河 山田 司郎
 決意新たに今年乗り切る
 老や死も恐るに足りぬ真理なり 世の移ろいは色即是空
 珍客の我家の庭に雉の雄 下石見 浅川 三郎
 窓ごしに観るりりしき姿
 しめ縄や隣の手の内眺めつつ じつと黙りて吾はシャリシャリ 上石見 福田 輝之
 寒中に背すじ伸ばして一歩づつ ノルディックウオーク皆で行き

編集後記

新年あけましておめでとうございます。日南町に移住し、初めての正月を迎えました。雪の量や雪かきの大変さ、除雪の凄さ、寒さの厳しさなど驚いたことは沢山ありますが、一番驚いたことは日南町で食べられているお雑煮が美味しいということ！ご好意で食べさせていただき、甘いだしとぶりのうまみ、海苔から香る日本酒そして大きくて柔らかいおもち・・・と全てがマッチしたお雑煮に感動しました！成人式等の延期や中止をはじめ、コロナ禍での辛抱が続きますが、町の方々の大活躍に背中を押され（表彰された方々おめでとうございます！）、今年も頑張っていきたいと思えました！

問 役場企画課 82-11115

「手話教室のお知らせ」

日南町手話サークルでは、手話教室を開催しています。手話が初心者の方でも安心です。おしゃべりをしながら、日常生活の中の簡単な手話表現を学習しています。手話に興味のある方は、一緒に学習してみませんか？

2月の日程

2月は学習会は開催しません

「咳」



グーにした右手をのどの前において咳をする様子

「エチケット」



両手をグーにして手の甲は相手側に向け小指側をトントンと2回ぶつける。

「手話表現には、色々な表現方法があります。」

3つの咳エチケット

電車や職場、学校など人が集まる場所でやる



マスクを着用する (口・鼻を覆う)

ティッシュ・ハンカチで口・鼻を覆う

袖で口・鼻を覆う

【お問い合わせ先】 石田由香里 (080-3052-9933) 浅野博美 (090-9734-1887)

